



(安芸市教育支援センター「ふれあい教室」)

## 奈比賀で5年ぶり運動会

### 安芸市 世代超え大盛り上がり

【安芸】安芸市奈比賀の市教育支援センター「ふれあい教室」でこのほど、5年ぶりに地区民運動会が開かれた。住民や地区出身者、高知県立大学の学生ら4～94歳までの60人以上が和気あいあいと楽しんだ。

約90人が暮らす同地区では、住民の高齢化や新型コロナウイルスの影響で20

18年以降、運動会が中止に。本年度は、同市の地域におこし協力隊員や県立大生が地区の天満宮の絵馬灯籠を復活させるなど地域活動に協力しており、住民の話し合いで運動会の再開も決まった。

8日は、ふれあい教室として活用されている旧川北小学校奈比賀分校のグラウ

ンドや体育館で開催し、同教室に通う児童や支援員も初めて参加した。

各世代混合の2チーム対抗で玉入れやリレー、ボウリングなどの5種目で競い、お年寄りは鳴子を鳴らして応援。お年寄り限定で菓子や果物、缶ビールなどの詰め放題もあり、会場は大盛り上がりだった。

じゃんけん大会で勝ち残った本田美津意さん(94)は「久しぶりにみんな集まって楽しい。若かったら競技にいっぱい出たかったね」。奈比賀公民館長の阜山美代さん(69)は「若い人が集まってくれたき、希望が見えた。来年もまたやりたい」と話していた。(宮内萌子)